

○通学路「子ども110番の家」

子ども110番の家の目印や名前

子ども110番の家の地図

事件・事故にあったら（見たら）……

【報告・連絡】

○けいさつ（110番）、しょうぼう（119番）へ連絡する。

○連絡・報告するあいては……

- ・ちかくにいる大人
- ・おうちの人
- ・学校・・担任の先生など

○連絡・報告するときは……

- ・おちついて何があったかはなす
- ・できるだけこまかく、ていねいに

安全 ハンドブック

災害や事故から身を守るために
このハンドブックを活用しましょう！

【学 校 名】

【学 校 住 所】

【学 校 電 話 番 号】

名前

緊急連絡先

○上記の者が事件・事故にまき込まれた場合、御連絡をお願いします。

本カードは、文部科学省作成「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育を参考に、学校・地域・家庭が協力をして児童生徒の安全を目指すために作成いたしました。

●安全にしなければもう！

・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。
・けががなくてもすぐに帰らない。
・できればおうちのひとと連絡をとる。

●事件・事故のすぐあとには？

・その場所をはなれない。
・大人の話しをよくきく。
・助けてくれる人になにかあつたか話す。
・にげるときも声をだし、まわりに知らせる。
・明るいところ、人が通っているところをめざしてにげる。
・話すないようはできるだけこまかく伝える。

●事件・事故がおこったら？

・落ちついてこうどうする。
・けががなくとも、まわりに助けをもとめる。
・あてはなせるように事故のようすをおぼえておく。
・まわりの人に、自分の
・あいてにちがつかない
○歩き、自転車に乗った人から声をかけられた。
○自動車にのった人から声をかけられた。
・車のドアよりまえに立つ。
・車の進むほうこうとはぎやくくにににげる。

●安全にしなければもう！

・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。
・けががなくてもすぐに帰らない。
・できればおうちのひとと連絡をとる。

●事件・事故のすぐあとには？

・その場所をはなれない。
・大人の話しをよくきく。
・助けてくれる人になにかあつたか話す。
・にげるときも声をだし、まわりに知らせる。
・明るいところ、人が通っているところをめざしてにげる。
・話すないようはできるだけこまかく伝える。

●事件・事故がおこったら？

・落ちついてこうどうする。
・けががなくとも、まわりに助けをもとめる。
・あてはなせるように事故のようすをおぼえておく。
・まわりの人に、自分の
・あいてにちがつかない
○歩き、自転車に乗った人から声をかけられた。
○自動車にのった人から声をかけられた。
・車のドアよりまえに立つ。
・車の進むほうこうとはぎやくくにににげる。

●安全にひなんしましょう！

①まわりの人とひなん。
②助けてくれる人のいうことをきく。

【安全にひなんしましょう！】

あんぜんくまほ

そのままだま動かない
場所をうつる

【事件・事故のすぐあとには？】

はい
いいえ

●この場所は安全？

・落ちついて、まわりをよくくみて！
・まわりの人にたすけてもらおう！
・大人のいうことをきく

●事件・事故がおこったら？

・たてものから、とびださない。
・大人の話しをよくきく。
・もっているにもつて、頭をまもる。
・ものがおちてきそうな場所や動いてくもものがない場所
にうつる。
・にげるのはゆれがおさまってから。
●事件・事故のすぐあとには？

(じしんのとき)
・ゆれがおさまってからあんぜんな場所につる。

●事件・事故がおこったら？

さいがいあんぜん
(地しん・かみなり・とつぷう等)

生活安全
(不しん者被害)

交通安全

災害安全
(地しん・かみなり・とつぷう等)

【事件・事故がおこったら？】